

三池への想い

組合結成三十年に贈る言葉

関西不知火会

今はあかた
三池の
空をながめる
まぶしいばかりの
朝の光
不知火の海
しずむ真赤な太陽
幾年、くやい十年もの
生活がそこであった
三井は
私の生活をうばった
怒りにふるえながら
見知らぬ土地へ
大層に親子がひしめき
あつてもなく、仕事を
さかして仕事する
「三池」
それは歯をぐりぐりして
悲しみをのりこえた

今はあかた
三池の同志を想い
心をこめて頑張ろう
三十年
家族ぐるみの三十年
おめでとう おめでとう
三十年

今はあかた
三池の同志を想い
心をこめて頑張ろう
三十年



組合結成記念集會では、来賓も組合員・家族もいつしよに、宮浦指導部の原守男さんの力強い指揮で、炭掘る仲間、を合唱。

三池との交流を求めて

三川鉱に入坑して坑底見学

東ドイツ労組代表が来山



三川鉱の坑底を見学した後本部を訪れた、東ドイツ労働者代表。ホツとくつろいだひととき。

このほど東ドイツの鉱山・エネ
ルギー労組代表二人が来山。思わ
ぬ国際的交流が展開、改めて労働
三川鉱、電気など労働組合代表
者の連体の導きを教えた。

炭労の招待によるもので、同労
組中央委員会議長(炭労委員長に
当たり、露天掘りのヤマの出身)
のエアハルト・ウルリヒさんと、
同じく中央委員兼幹部会委員(電気
産業労働者)のマンフレッド・マ
ーチンさんの二人だった。

二人は同月二十四日羽田に着い
て以来、広島・京都・四国(特に
別子鉱山見学)・福岡とまわり、
その朝来山。

まず三川鉱に入坑(午前九時
正午)した後、市内某店で開催さ
れた歓迎会にのぞみ、後来組。そ
のうちに東京へ。

代表たちはお互いに遠く離れて
いながら三池の事情に精通してい
て、示される写真などはとらう
ですで見えて知っていた。

歓迎会でのあつちのなかで、
「三池の闘いは、世界にも誇るべ
き闘いであり、私たちの国の労働
者も高く評価している」と言
へて返して述べた。

聞けば東ドイツも、日本の炭労
代表を招待する意向を固めている
という。これを機会に、両国労働
者間の国際連帯が一段と強まるの
を期待してやまない。



西本さん

言葉……「組合結成三十年目
に、停年を迎えました。これまで
会社の悪い労務政策に反対し
て、相互信頼と協力のもとに闘
って参りましたが、その間三池闘争
や三川鉱炭じん大爆発などが起き
たことを、忘れることができません
。これもひとえに職場、並びに
組合員の方々の温かい指導と協
力があつたからこそ、深く感謝
しております。

今後皆様も色々ときびしい問題
や、苦しいことが多く出てくる
ますが、健康には十分注意されま
して頑張ってください。

在職中同様、直しくお願い致し
ます。」



岩本さん

言葉……「組合員、並びに主
婦会の皆様、毎日苦勞様です。
無事停年を迎えることができまし
た。これもひとえに職場、並びに
組合員の方々の温かい指導と協
力があつたからこそ、深く感謝
しております。

今後皆様も色々ときびしい問題
や、苦しいことが多く出てくる
ますが、健康には十分注意されま
して頑張ってください。

在職中同様、直しくお願い致し
ます。」

三池三井労働組合結成三十周年記念集會に参加して

大阪 豊田正義

栄えある三池炭鉱労働組合結成三十
周年記念集會にご招待をいただき
ここに北摂の地より、私と国労大阪
新幹線支部の森村敏子書記長、北
摂CO患者を守る会の原島忠文事
務局長の三名が参加いたしました。

記念集會でうけました激しい感
動は、今だに整理しつものでは
なく、文章にまとめるには表現す
べき言葉を見出しえないいらだち
すら感じます。

全国の職場・職場に

三池闘争の再生を

あくなき三井資本によって、労働
団の職場の「三池化」を促され、
災害の名のもとに殺された八百人
を越す先達、友人の霊に黙とうを
ささげました。

合組団のハミングによって社董
に流れる「赤旗の歌」の調べは、
私をして背筋を貫く険険にも似た
衝動とともに、三池労働者にと
て命を守る闘いとは一体何であ
ったのか、それは三池労働者が労働
者であり続ける限り聞かねばな
らなかつた日常の基本的な課題で
あり、今日を生きていく、すなわ
ち闘いと抵抗であるという三池労
働者と労働の歴史が内包する激し
さというものを、改めて知らされ
る思いでした。

「われわれは労働者階級の解放を
めざす」という三池労働の基本
路線のことも意識し、この言葉のし
めつけで内実一命を守る保安闘
争、人殺し合理化への闘い、支配
階級をして「革命の子」と恐怖せ
しめた職場闘争、三池大闘争、大
災害CO闘争とうきうきう闘い
の中で、三池労働者と主婦は、日
常の闘いの中から未来を要求し、
職場を基とした命を守る闘いを
闘ってきた。

「われわれは労働者階級の解放を
めざす」という三池労働の基本
路線のことも意識し、この言葉のし
めつけで内実一命を守る保安闘
争、人殺し合理化への闘い、支配
階級をして「革命の子」と恐怖せ
しめた職場闘争、三池大闘争、大
災害CO闘争とうきうきう闘い
の中で、三池労働者と主婦は、日
常の闘いの中から未来を要求し、
職場を基とした命を守る闘いを
闘ってきた。

命を守る闘い

たまたまとくはありますが述べ
ますと、集會の冒頭、司会をとり
められた山下書記長は、集會に
結果した三千人の仲間全員に起立
を求め、労働結成以来今日まで

また、開会の際の古賀組合長、
集會アピールの淡田書記長の言葉
の中でくりかえし述べられた「全
国の職場に三池闘争の再生を」
私は深い感銘と共感を覚えるを
中に脈々と貫かれていくと実感し

来賓挨拶の中で若井章氏(元総
評事務局長)は、「資本主義が憎
んで連絡下さい。キャビネ版五枚
一組で千円です。」と一編集部

私らの決意

筆者は、大阪の北摂地区評勞
災・職業病対策集會の中心活動
の解放の道筋を、われわれに照ら
す。

お知らせ

組合結成三十周年記念集會の写
真をもとに用の方は、編集部ま
でご連絡下さい。キャビネ版五枚
一組で千円です。